

令和 2 年度第 1 回愛知県義務教育問題研究協議会における協議の概要について

日時：令和 2 年 9 月 8 日（火曜日） 午後 2 時から午後 4 時まで

会場：愛知県庁西庁舎 教育委員会室

- 1 開会
- 2 愛知県教育委員会挨拶（学習教育部長）
- 3 委員等紹介
- 4 会長・副会長選出
- 5 会長・副会長挨拶
- 6 議事

【報告事項】

- (1) 愛知県義務教育問題研究協議会の歩みについて
- (2) 令和 2・3 年度愛知県義務教育問題研究協議会協議題について

「ICT 機器を活用した教育活動の在り方」

【協議事項】

- 愛知県の ICT 教育に望むこと

【ICT の活用】

- ・ 授業だけでなく、生活でも ICT 機器を使っていくことが必要である。
- ・ 個々に応じた ICT 教育を進めれば、教室の中で協調性が生まれる。
- ・ 目的や方針を明確にして ICT を導入していくことが重要である。
- ・ ICT を活用できる環境を整備し、これまでの学びと関連付けることが大切である。
- ・ ICT を使い、主体的、対話的で深い学びを実現するためのスキルと知識を身につける

必要がある。

- ・ 教員が行うこと、学校が行うこと、教育委員会が行うことなど示せるとよい。
- ・ 今から10年くらいが、変えていこうというチャンスである。
- ・ ICTに関してはこれまでもチャレンジしてきたが、整備されていなかったり、市町村にばらつきがあったりして実現できなかったことも多い。
- ・ ロードマップも考えながら、今年来年でできそうなことを専門部会で進めていく。

【実践例】

- ・ 発達段階に応じた実践例があるとよい。
- ・ 事例を集め広めていくことで、ICTを使った横のつながりができるとよい。
- ・ 日本語が苦手な子供への教え方や便利なソフトなどの情報があるとよい。
- ・ 先生がデータを共有できると便利である。
- ・ パソコンへの依存や、文字を書かなくなったり辞書を引かなくなったりするなどのデメリットも踏まえて進めたい。
- ・ データを一元管理でき、先生方が使いたいときにすぐに使えるといい。
- ・ 先進的な実践は参考になる。

【教員のICT指導力】

- ・ 多様な子供の指導は一人の先生では対応できない。先生の力量向上のためにも支援員は必要である。
- ・ 個別最適化を実現させるため、先生たちの研修も支援員も必要になってくる。
- ・ 全県下で配信でき、先生方が研修したりものを作ったりする拠点があるとよい。
- ・ 分かりやすい授業をするためのICT教育を進めてほしい。
- ・ 全ての先生が学べる機会があるとよい。

【デジタル教科書】

- ・ 将来的にはデジタル教科書も無償になるとよい。
- ・ 学習支援ソフトなどの機能がついたものになるとよい。
- ・ パソコンを持つことで、重い教科書から解放されるとよい。
- ・ 紙の教科書がなくなるかは分からない。
- ・ デジタル教科書の編集は著作権の問題等があり簡単なことではない。

【家庭での学習】

- ・ 学校では習わないことや、プラスαで学びたいこともタブレットを持ち帰ることができれば可能になる。
- ・ GIGAスクールで端末が入っても、端末を家に持ち帰るまでには、目に見えない壁が

あり、できないことがたくさんある。

- ・ 臨時休業以前は、授業の中でICTをどのように活用すれば、魅力的で効果的で効率的な授業を行うかという点に焦点化されていたが、今は家庭学習等へとつなげることができるかという検討にもなっている。
- ・ 論理的に意見を述べるというスキルも身に付けて、家庭や学校の中で失敗もしながら社会に出て行くような教育をしていただけるとよい。

〈専門部会での研究協議の方向性〉

「専門部会では、愛知県としてのICT機器の活用の在り方についての指針となるものと、具体的な活用事例を研究協議する。」

①「ICT機器を活用した教育活動の在り方」リーフレットの作成

理想の教育活動の在り方を実現していくために愛知県としての方向性を示すものにした。ICT機器を使って何がしたいのか、何ができるのか。1人1台端末が導入されたときの活用の仕方を盛り込みたい。

②「授業におけるICT機器の効果的な活用」事例集

先進的な事例や、今後、取り組んでいきたい活用法。これまで積み上げてきた実践と、ICT機器の組み合わせ例など、取り上げていきたい。

(2) 専門部会の設置について

(3) 令和元年度愛知県義務教育問題研究協議会の事業計画について

7 連絡事項

8 閉会の挨拶

9 閉会